

事務事業評価シート 平成 30 年度事後評価・決算

令和 2 年 2 月 21 日時点

事務事業名		35300	学校いきいきプラン事業	予算科目	会計	款	項	目	担当班	指導班
施策体系	基本施策	11	学校教育の充実	根拠法令	学習指導要領、旭市補助金等交付規則、旭市学校いきいきプラン事業補助金要領	10	1	2	☒ 主な事業	
	施策の展開	20	教育内容の充実	戦略事業	108 学校いきいきプラン事業				☐ 国土強靱化地域計画	
	施策の展開			戦略事業					☐ 新市建設計画	
									☐ 定住自立圏構想	
									☐ 主要事業	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返	☒ 平成 22 年度～	市内各小・中学校が、主体性を発揮し、創意工夫を生かして教育の活性化を図り、特色ある学校づくりができるようにする。こうした主体的な教育活動を展開する中で、児童生徒一人一人に「生きる力」を育むことを目指す。 【学校数】20校(小学校15校、中学校5校)	
	☐ 開始年度不詳		
	☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	
現行の学習指導要領は、教育課程の中での「生きる力」の育成をねらいとする。各学校が創意工夫を生かして特色ある学校づくりを目指す中で、教育の活性化が図られ、児童生徒が充実した学校生活を送ることができる。その実現を目指し、本市内の小・中学校児童生徒一人一人が輝くために、学校裁量経費が必要である。		次代を担う子どもたちが、これからの社会において必要となる「生きる力」をはぐくむためには、学校だけではなく家庭や地域など社会全体で子どもたちの教育に取り組むことが重要視されている。本事業を含め、各校の積極的な働きかけが重要である。	
		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
		実施各校から、取組をおし、児童生徒が主体的に活動する姿が見られるようになり、各種活動への意欲が高まり、教育が活性化されたとの報告がある。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算)		単位:千円	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
1. 学校いきいきプラン事業補助金	10,600	学校いきいきプラン事業補助金	千円	10,600	10,600	21,600	10,600	10,600
			千円					
			千円					
			千円					
			千円					
② 特定財源の内訳(30年度の決算)		単位:千円	事業費計 (A)					
1. 国庫支出金	0		千円	10,600	10,600	21,600	10,600	10,600
2. 都道府県支出金	0		千円					
3. 地方債	0		千円					
4. その他	1,800		千円					
			千円					
			千円					
			千円					
			千円	10,600	10,600	9,600	8,800	7,000

前年度増減理由	ふるさと応援基金より充当 1,800千円
---------	----------------------

従事職員数 常時 1 人 最大 人 × 日 = 延べ 0 人

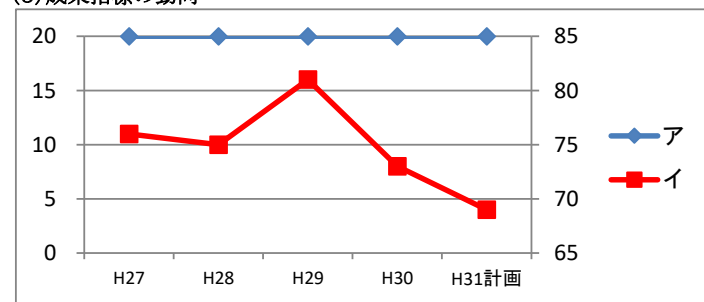
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	30年度実績(30年度に行った主な活動) 文化・芸術・科学・スポーツ教室等体験教室、各種講演会、各種文化・芸術鑑賞活動、体験や交流を通じた地域学習、勤労奉仕活動等	ア 実施事業総数	事業	76	75	81	73	69
		イ 関係児童生徒数	人	5,174	5,104	4,974	4,865	4,781
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	対象 旭市内の小・中学校 意図 裁量による創意工夫を生かした教育の活性化と特色ある教育活動の推進 対象 旭市内の児童生徒 意図 「生きる力」の育成	ア 学校いきいきプラン事業補助金を申請・活用した学校数	校	20	20	20	20	20
		イ 学校いきいきプラン事業補助金を活用して行われた事業数	回	76	75	81	73	69

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
	普通			
	小さい			
② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	成果優先度	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	①	(1)		
	②			
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標 A	成果指標 I	数値増＝成果向上	数値減＝成果向上	比較
	【コメント】(低下の場合、その理由)	事業数は、減少しているが、その分、一つ一つの事業を充実させているため。				
	③ 今年度取組事項(31年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	現状維持	見直し
		令和2年3月まで	文化・芸術関連事業 地域人材活用事業 体験的な活動推進事業等	R2.3月まで	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()